

回	大会長	開催地	大会メインテーマ	大会長講演	シンポジウム	ディベート	講演	発表			参加者数
								演題数	示説	インフォメーション・エクスチェンジ	
第1回 (1997)	川村佐和子	神奈川県 (パシフィコ横浜)	創造的看護管理	「難病運動から学んだこと」	シンポジウムⅠ:「看護とコスト」 シンポジウムⅡ:「感染管理のポリティクス」	「看護における質の評価」	招聘講演:「看護サービスの財政確保の戦略」岩下清子(日本看護協会)	11	0	0	600名
第2回 (1998)	栗屋典子	大分県 (ビーコンプラザ)	看護管理の明日を拓く	「看護管理と人材育成」	「看護管理におけるベンチャーの可能性」	「看護管理者の経済観念は看護サービスを向上させるか」	特別講演:「患者中心の看護は病院を変える」神原和歌(近森病院常務理事・看護部長)	15	0	0	600名
第3回 (1999)	井部俊子	東京都 (中央区中央会館)	看護の価値を創造するー看護サービス・マネジメント	「キャリア開発ラダーのめざすもの」	—	「看護はサービス業として成り立つか」	教育講演Ⅰ:「サービス・マネジメントについて」近藤隆雄(多摩大学経営情報学部) 教育講演Ⅱ:「人事賃金制度の変革と方向性について」楠田丘(社会経済生産性本部雇用システム研究センター)	20	0	0	804名
第4回 (2000)	上泉和子	青森県 (青森県立保健大学)	ケアの時代の看護管理	「ケアの時代の看護管理者の育成」	「ケアの時代の管理者の役割」	「専門看護師は定着するか」	教育講演:「専門看護師の雇用と活用ーCNSからアドバンスプラクティスナースへの経緯と今後の方向性」パメラ・ミナリク(エール大学)	29	12	4	834名
第5回 (2001)	井上悦子	佐賀県 (佐賀文化会館)	看護サービスの新パラダイムー顧客・情報・組織化	「看護サービスの新パラダイムをめざして」	「看護資源の有効活用と政策決定」	「医療のハイテク化は医療事故を減らすか」	教育講演:「顧客が求める看護サービス」谷川紀彦(富士コーポレートアドバイザー株式会社)	51	12	4	701名
第6回 (2002)	金井Pak雅子	東京都 (京王プラザホテル)	組織の刷新ーリスク管理とリーダーシップ	「看護経済学ー理論と実践の接点」	—	「診療報酬包括化は看護の質を上げるか」	教育講演:「個のナリッジをベースとした学習する組織への脱却」高梨智弘(日本総合研究所理事) 参加型講演:「リスク管理とリーダーシップーコックピットから学ぶ」斎藤貞夫(産業能率大学経営開発研究部)	46	10	2	約1,100名
第7回 (2003)	久常節子	神奈川県 (パシフィコ横浜)	看護政策決定過程とパワーダイナミクスー看護職のもてる力を高めるー	「看護職のもてる力を高めるためにーおそれず、ひるまず、あきらめずー」	「看護政策を成功に導く戦略」	「看護界は政治力をもつことができるか」	啓発ドラマ:「1.5対1ー現場の課題から政策決定へー」	57	23	4	1,548名
第8回 (2004)	中西睦子	栃木県 (栃木県総合文化センター)	しくみを変える知識を築くー「副」というポストの働きに焦点をおいて	組織を支え、組織を変える「副」の立場の働き	「組織の決定と看護職」	「看護職の副院長は定着するか」	啓発ドラマ:「“ザ・ネゴシエーション”」	48	53	6	1,204名
第9回 (2005)	林千冬	兵庫県 (神戸ポートピアホテル)	説明責任と透明性ーひらかれた看護管理をめざしてー	説明責任と透明性ーひらかれた看護管理をめざしてー	「看護管理からはじめる患者のための医療改革ー市民と看護職者の協働の可能性ー」	「成果主義人事は看護サービスの質を上げるか」	講演1:「21世紀初頭の医療制度改革と看護職への期待」二木立(日本福祉大学) 講演2:「キャリア発達とリーダーシップの時間軸ー瞬間・経験・生涯ー」金井壽宏(神戸大学)	61	37	6	1,221名
第10回 (2006)	鶴田恵子	東京都 (日本都市センターホテル)	看護管理学の進化、さらなる変革への挑戦ー激動の時代を生きぬくためにー	看護管理のパフォーマンスと知	最適なスタッフィング構築への戦略	なし	特別講演1:「知識創造の方法論」 特別講演2:「経済社会と職業専門家の倫理」 教育講演:3題 緊急特別講演:「保健子助産師看護師法等の改正と看護管理」	68	44	12	1,212名

回	大会長	開催地	大会メインテーマ	大会長講演	シンポジウム	ディベート	講演	発表			参加者数
								演題数	示説	インフォメーション・エクスチェンジ	
第11回 (2007)	梶原和歌	高知県 (高知文化プラザかるぼーと)	変化する医療のかたちと看護の創造—流れ・循環・個からの拡がり—	チーム医療と看護管理の役割	シンポジウムⅠ:「医療提供体制—求められる具体的対応—」 シンポジウムⅡ:「創造し立つ看護」	なし	特別講演1:「これからの福祉と医療」 特別講演2:「看護管理者が人間の心を理解してリーダーシップを発揮するために」 啓発ドラマ:「あしたの夢」	78	57	12	1,203名
第12回 (2008)	菅田勝也	東京都 (東京大学)	評価	看護評価の地平	シンポジウムⅠ:「実践能力評価を発達機会とする戦略」 シンポジウムⅡ:「より良いケアを提供する機器・物品の評価と開発」 シンポジウムⅢ:「看護サービスの評価と展開」 特別シンポジウム:「わが国の看護管理の発展と展望」	なし	特別講演Ⅰ:「看護における実践知とその評価」 特別講演Ⅱ:「これからの看護報酬—質とアウトカムの評価導入に向けて—」 リレーパネル:「医療安全管理者の燃え尽き」 啓発ドラマ:「自分を見つめて—目標管理面接」	83	56	7	1,511名
第13回 (2009)	勝原裕美子	静岡県 (アクトシティ浜松)	可視化	看護の価値を、社会の価値に	シンポジウムⅠ:「頭脳労働をのぞいてみる」 シンポジウムⅡ:「なぜ政治は複雑に見えるのか」	なし	特別講演:「看護師マンガを描き続ける理由 ~『Ns あおい』から見た風景~」 教育講演:「経験から学ぶプロセスを可視化する」 特別企画:「マグネット認定取得の効果と今後の課題」 学会リレーパネル:「医療安全管理者のキャリア」第3回「医療安全管理者と看護部長との連携」 緊急特別講演:「保健師助産師看護師法等の改正—看護管理の視座—」 特別セミナー:『爪のケアに関する刑事事件』の一審判決を読み解く	89	66	14	2,018名
第14回 (2010)	嶋森好子	神奈川県 (パシフィコ横浜)	安全確保のために医療提供体制を再考する	安全確保のために医療提供体制を再考する	シンポジウムⅠ:「大転換期にある急性期病院の課題を探る」 シンポジウムⅡ:「急性期病院における訪問看護との連携の在り方を考える」 シンポジウムⅢ:「アウトカム指標としての看護必要度の適正な評価とその有効活用」 シンポジウムⅣ:「集約化がすすむ周産期医療体制を牽引するリーダー育成を看護管理者はどのように行うか」	なし	特別講演1:「取材者から見た医療安全の課題」 特別講演2:「医療と法-私と看護業務基準」 教育講演1:「ケア労働の組織-ケア労働における意味の不確実性とそれを支える組織のありかたを考える」 教育講演2:「遺体現象と死後ケアのあり方」 教育講演3:「労働基準法の改正と医療職の働き方について-時間外・夜勤緊急調査結果をふまえて-」 教育講演4:「診療報酬改定の流れ」 特別企画:「爪ケア事件からの教訓」 特別企画:「チーム医療の推進と新たな看護師の役割について」 特別セミナー:『爪のケアに関する刑事事件』の一審判決を読み解く パネルディスカッション:「医療の質マネジメントシステムの導入・推進の実績に学ぶ-その効果と看護責任者の役割」	121	57	18	2,259名

回	大会長	開催地	大会メインテーマ	大会長講演	シンポジウム	ディベート	講演	発表			参加者数
								演題数	示説	インフォメーション・エクステンジ	
第 15 回	坂本すが	東京都 (京王プラザホテル)	先をよむ	先をよむ	シンポジウム1:「看護管理者として、産科病棟のマネジメントをどう考えるか～リスクマネジメントの観点から～」 シンポジウム2:「これからの働き方」 シンポジウム3:「看護管理者に大学院教育はどう貢献するのか」 シンポジウム4:「病棟・外来マネジメントの極意～現状対応と近未来に向けて」	なし	特別講演1:「看護職と中央社会保険医療協議会」 特別講演2:「超高齢社会の医療とシステム—看護職への期待」 特別講演3:「看護職能団体の役割と今後のあり方」 教育講演:「フィンランドにおける人員配置システムとその実際」 特別企画1:「世界基準の機能評価 JCI 受審にあたり見えてきたもの」 特別企画2:「The Year 2025 is Just Around the Corner:13 years, 4 months, 4 days to go !」 緊急企画1:災害時における看護マネジメントのあり方 緊急企画2:「大規模災害に対応した保健・医療・福祉サービスの構造、設備、管理運営体制等に関する研究」(研究代表者: 寛淳夫 工学院大学)との共同研究について 日本看護管理学会企画:「これからの学会への期待」 パネルディスカッション1:「地域をつなぐケアシステム」 パネルディスカッション2:「評価の仕組みを標準化する」 パネルディスカッション3:「業務拡大と生産性」	84	112	18	2,457名
第 16 回	中村恵子	北海道 (札幌コンベンションセンター)	未来(あす)の医療を牽引(リード)する看護管理	大学と臨床のコンソーシアムで医療を牽引(リード)する	シンポジウム1:「『雇用の質』の向上を目指した労務管理」 シンポジウム2:「連携する—看護師が牽引するチーム医療の現状と課題—」	なし	特別講演・公開市民講座:「地域に根差す球団運営」 教育講演1:「これからの医療安全の展開～内実化と水平展開と垂直展開」 教育講演2:「看護政策に必要な医療経済学」 教育講演3:「看護師の働き方と経済性」 パネルディスカッション1:「看護職副院長は“医療をどのように牽引しているか”」 パネルディスカッション2:「これまでの看護マネジメントを自らの経験から振り返り、これからの方向性を他分野の経験者と共に学び合う～アクションリサーチを用いた看護マネジメントについての経験知の共有と外部の知恵の導入による新しい学びの創発～」 パネルディスカッション3:「看護師の新たな認証制度」 パネルディスカッション4:「新卒看護師の社会化」 パネルディスカッション5:「看護とデザインのコラボレーション Part II ～快適療養環境を創造する～」 パネルディスカッション6:「臓器提供時のマネジメントについて考える」	147	133	22	2,369名